

平成20年7月10日

市民参画課

内線 2220

市民企画事業の応募状況について

市民の皆様の自由な発想から生まれる公益性の高い事業を市と協働して事業化する市民企画事業を募集いたしました。

その結果、今年度におきましては11件の応募がありました。その概要は以下のとおりです。

1. 目的 市民の皆様の自由で多様な発想から生み出される企画を募り、市との協働で事業を実施します。
2. 募集期間 平成20年5月1日(木)から6月30日(月)
3. 件数 11件の応募
4. 応募事業について
 - 鳥見バイオパークづくり
 - 「市内在住の働く人達のための朗読講座」開設
 - 母と子のアニメーション
 - ライブカメラによる世界遺産「奈良」の四季パノラマ動画配信
 - 羅城門跡公園に芝生(ティフトン)を皆で植えてきれいにし市民の憩の場、遊びの場にしよう
 - 「漢文・漢詩 素読教室」
 - 「平成の遣燈使」～中国・西安との市民交流の拡大～
 - 山辺の道・北道の活性化事業
 - 古都ならに「エコタウン」、散策道、伝統工芸の「工房タウン」、バザール、広場における芸能等による、集客モデル
 - 生きつづける木簡
 - 「できるやんか！」講演会+市民の発表会
5. 今後のスケジュール
 - 7月～8月 審査委員会委員の委嘱及び書類審査
 - 9月中旬 プレゼンテーション審査
 - 10月上旬 最終審査決定された事業は平成21年度以降で提案者と市とが協働して事業化する予定です。

平成20年度 奈良市市民企画事業 概要一覧

提案番号	1	事業名	鳥見ピオパークつくり
提案概要	<p>鳥見第1号街区公園を、地域住民の知恵と力を結集して整備し、住民憩いの場(バリアフリー化)、児童の環境学習の場(ピオトープ化)にする。</p> <p>全年代層が楽しめるように公園を、子どもエリア・語らいエリア・多目的エリアに、テーマ別に整備する。車椅子で入園できるようにスロープ状の進入路を設ける。</p> <p>自然遊び、自然観察ができるように、笹の除去、高木の間伐、池の浅瀬化などの整備を行う。</p> <p>水生植物・動物が育つように池を整備し自然浄化を図る。</p>		
提案番号	2	事業名	「市内在住の働く人達のための朗読講座」開設
提案概要	<p>情報化時代においてストレスを抱えている勤め帰りの人たちのために、朗読の集いを開催し、ことばを声に出して味わう朗読を体感することで、疲れた脳がリフレッシュし、これが家族にも波及して明るい市民生活が送れるようになる。また、県外の勤務地から奈良へ寝に帰るだけの生活から市内の公共施設で開催する朗読会に参加することで奈良に対しての愛着心が湧いてくる。</p>		
提案番号	3	事業名	母と子のアニメーション
提案概要	<p>読書のアニメーションと読み聞かせとを併せた読み聞かせのアニメーションを保育所・幼稚園で実習したところ園児たちから予想以上の反応を得た経験から、市内の子どもを持つ母親たちが自宅で読み聞かせのアニメーションが実践できるようプログラムを組み、普及させることで子どもたちの脳に刺激を与え成長を促すとともに親子のコミュニケーションを活発化させようとする。(読書のアニメーション:読書をゲームとして楽しみながら読解力・表現力・コミュニケーション力を育てる読書指導の方法)</p>		
提案番号	4	事業名	ライブカメラによる世界遺産「奈良」の四季パノラマ動画配信
提案概要	<p>市内の選定した場所にライブカメラを設置し、世界遺産を中心とした奈良の四季の情景をインターネットを經由して全世界に動画または静止画及び音声で配信を行う。定点放映によりリアルタイムに状況を映し出すことで確実な情報を伝えることができるとともに奈良の風情を伝えることで関心を高め、観光客の増加を図る。</p>		
提案番号	5	事業名	羅城門跡公園に芝生(ティフトン)を皆で植えてきれいにし市民の憩いの場、遊びの場にしよう
提案概要	<p>平城京の玄関口でもあった羅城門跡公園が雑草化し市民に活用されていない状況にある。平城遷都1300年を迎えるにあたって、羅城門跡公園に芝生(ティフトン)を植えて整備を行い、子どもたちの体力・運動能力の向上、市民のコミュニケーション、またイベント会場として市民の憩いの場、遊びの場として活用を図る。</p>		
提案番号	6	事業名	「漢文・漢詩 素読教室」
提案概要	<p>素読・暗誦・朗詠が人の情緒を育むことについては、かなり古くからいわれ実践されてきたが、その素読を「論語」から始め、漢詩にまで範囲を広げた素読教室を開催する。素読を実践し継続することは、日本語の韻律を身につけることにつながるとともに他人を思いやる心を育む。</p>		
提案番号	7	事業名	「平成の遣燈使」～中国・西安との市民交流の拡大～
提案概要	<p>平成22年に開催される平城遷都1300年記念祭に向け、奈良市民と西安市民の交流を図る。まず、平成21年に奈良市の友好都市である西安市において燈花会を開催して平和と幸せの灯をともし、また、平成22年の平城遷都1300年記念祭に西安市民の来寧を願い燈花会の灯をとますことなどにより市民交流の輪を広げ相互理解の向上と国際文化観光都市奈良のアピールを図る。</p>		
提案番号	8	事業名	山辺の道・北道の活性化事業
提案概要	<p>桜井市金屋から天理市石上神宮に至る「山辺の道・南道」は今や全国的に有名となって多数のハイカーで賑わっている。この道を北進し、奈良市の虚空蔵町から白毫寺町にかけて道標など設置して「山辺の道・北道」の整備を行い歴史探訪ウォーキング、四季写真展の開催、小中学校の遠足コースにするなど、歩く奈良観光の基盤を築き奈良観光の活性化を図ろうとする。</p>		
提案番号	9	事業名	古都ならに「エコタウン」、散策道、伝統工芸の「工房タウン」、バザール、広場における芸能等による、集客モデル
提案概要	<p>平城遷都1300年を契機に、転害門南の今小路通りの西側にレトロなまちなみの造作や伝統工芸の工房、飲食店、宿泊施設などを誘致することで工房タウンを形成し集客による賑わいを図る。さらに、太陽電池等最先端技術のクリーンエネルギーによるエコタウンへの対応を行い、モデルタウンをつくることで活性化をはかるものである。</p>		
提案番号	10	事業名	生きつづける木簡
提案概要	<p>遷都1300年記念事業への市民の参加意識の高揚を図るため、この節目に生きる奈良市民が、今を生きる証と、また今を生きていたメッセージを未来に残す事業として木簡を書き保存する事業を行うものである。平成21年度は筆と墨を使ってメッセージを書いた木簡葉書を作成・郵送し県外に向け誘客活動を行い、22年度は記念事業開催中に木簡を埋めるイベントを行う。</p>		
提案番号	11	事業名	「できるやんか！」講演会 + 市民の発表会
提案概要	<p>人の活性化を図る講演会の開催とともに年少者から高齢者まで趣味でされている文化教室などの作品展、またピアノ、踊りなどの発表会を開催することで、人としてのモチベーションを高め、元気が出るよう働きかけ、市民が今できることから考えて実行できるようにする。</p>		